

平成27年度 第3回 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事要旨

日時：平成28年1月27日（水）15:00～16:30

場所：帯広市消防庁舎 3階 屋内訓練場

■ 出席委員（17名）

志賀委員（座長）、鳥本委員、荒委員、平林委員、白石委員、高橋委員、宮澤委員、仲沢委員、橋枝委員、小倉委員、大西委員、鈴木（孝）委員、今川委員、廣瀬委員、沼田委員、福原委員、長澤委員

■ オブザーバー

音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、更別村、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、浦幌町

十勝町村会、十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局

医療・福祉作業部会、教育作業部会、産業振興・地産地消作業部会、環境作業部会、人材育成作業部会、企画作業部会、消費生活作業部会、電算システム作業部会

■ 事務局

阿部政策推進部長、池原政策推進部政策室長、河原政策室政策主幹、竹川政策室政策副主幹、村上政策室主任補

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 意見交換の進め方について（資料0）
 - (2) 第2期共生ビジョンに係る意見交換（資料1～2）
- 3 その他
- 4 閉会

■ 議事要旨

1 開会

- 委員29名中17名が出席し、過半数に達しているので、設置要綱第6条第2項の規定により、会議が成立している旨を報告
- 会議資料の確認

2 議事

(1) 意見交換の進め方について(資料0)

【座長】

はじめに「(1) 意見交換の進め方について」を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料0をご覧ください。第2回目の会議の後、12月1日から1月6日まで、管内全市町村の住民を対象にパブリックコメントを行いました。本日は、パブリックコメントの結果と第2期共生ビジョンの最終案について協議を行います。なお、3月に最終案をまとめ、策定・公表する予定でございます。

本日の進め方ですが、事務局からパブリックコメント結果と最終案について一括して説明いたします。その後、まずパブリックコメントについてご質疑をいただきます。その後、第2期共生ビジョンの内容についてご質疑をいただきたいと思います。パブリックコメントについては、事務局が整理した考え方に対するご質問を中心といたします。最終案については、附属資料として、これまでの議論をまとめたものを添付しております。特に第2回目の懇談会でのご意見について、考え方を整理しておりますので、ご質問、ご意見等をお願いいたします。最後に、全体を通して、今後の取り組みへのご意見があれば、ご発言をいただきたいと思います。なお、ビジョン最終案ということで、本日のご意見に関わって大きな修正は難しいところでございます。来年度以降に協議をして、年度改訂の中に取り込んでまいりたいと考えております。

留意点ですが、附属資料の中に事業費一覧がついております。現在、各市町村の予算編成中ですので、3月の策定・公表の際に追加ということでご理解をいただきたいと思います。また、共生ビジョンにつきましては、基本となる市町村間の協定書がございます。これを各市町村議会で変更いただく手続きが必要となります。その議決後に、ビジョン策定となりますが、現在のところ、3月末日に公表していく考えであります。

説明は以上でございます。

【座長】

ただ今、説明がございましたが、事務局から一括して説明後、はじめに、資料1のパブリックコメントに対する考え方について、その後、前回までの意見に対する考え方について、不明な点などあれば、ご質問、ご意見をお願いいたします。最後に、第2期共生ビジョンの最終案について、全体を通してご質問、ご意見をお願いします。なお、いただいたご意見等は最終案の附属資料に記載し、来年度以降の取り組みの参考としていくとのことでした。

ただ今の説明について、ご質問などありませんか。

(質問なし)

【座長】

それでは、事務局説明の通り進めてまいります。

(2) 第2期共生ビジョンに係る意見交換（資料1～2）

【座長】

次に、「(2) 第2期共生ビジョンに係る意見交換」を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1、パブリックコメントの結果について説明いたします。昨年12月1日から1月6日まで実施いたしました。結果としては、3人の方から6件のご意見をいただいたところでございます。その取り扱いですが、共生ビジョンの案を修正するものは0件、既に案に盛り込んでいるものが2件、今後の参考とさせていただくものが1件、意見として伺ったものが3件と整理したところであります。

1件目ですが、十勝は農業ばかりでなく水産業も盛んなので、そのPRをしていくべきではないかというご意見でございます。豊頃町の方からのご意見でございます。回答としては、フードバレーとかちの取り組みを進める中で、水産物についても企業とのマッチングやPRを進めてきており、今後についても、その一環として引き続き取り組んでいく考えでありますので、「既記載」として整理しております。

2件目も豊頃町の方からのご意見で、わが町は近隣町村への通勤圏であり、保育所や学童保育等に対応できる町として定住促進を進めてはどうかというご意見でございます。豊頃町に対するご意見として承りましたので、既に豊頃町にご意見があった旨をお伝えし、「その他」と整理しております。

3件目から最後まで、帯広市の方からのご意見でございます。まず、東京オリンピック・パラリンピックに関係した取り組みを「スポーツ大会等の誘致」に盛り込むべきではないかというご意見でございます。こちらは「参考」としてしております。今回、スポーツ大会等の誘致を新規項目として追加しております。その一環として、今後、関係町村と情報収集・意見交換を行いながら、オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを進めていく考えでございます。

次に、政府関係機関の誘致に向けた取り組みをビジョンに盛り込むべきではないかというご意見でございます。これについては「その他」として整理しております。報道でも取り上げられておりますが、地方創生に関わって政府関係機関の移転をオール十勝で進めてはどうかというご意見でございます。現在行われている移転の取り組みについては、昨年夏を締め切りとして既に進んでおまして、今後募集があるかどうか現時点では不透明でございます。相手がある話でありますので、今後どういう形で募集がなされるのか見えない中で、ビジョンに盛り込むことは難しいと判断いたしまして、「その他」の扱いにしたところでございます。

次に、JICA研修事業の活用による圏域外への情報発信ということで、地球温暖化防止に向けた管内の取り組みを圏域の外にPRしていく取り組みを新規項目としておりますが、その進め方として、JICAの研修事業を活用し海外にも発信してはどうかというご意見でございます。これにつきましては、既に一部、JICAの研修への職員派遣を通じて情報発信しておりますので、「既記載」として整理しております。

最後に、地域の国際交流団体を中心にした連携の取り組みをビジョンの中に取り込んではどうかというご意見でございます。これについては、「その他」としてございます。既に「十勝インターナショナル協会」という団体がございます。こうした既存の枠組みがございますので、定住自立圏の中で改めて取り上げるのではなく、現在の取り組みを継続していく中で、オール十勝の動きとしていくという考え方でございます。以上が、パブリックコメントの結果でございます。

次に資料2、共生ビジョン案をご覧いただきたいと思います。パブリックコメントを踏まえた修正はございませんが、数字の精査や附属資料の追加ということで、事務局で整理した部分がございます。

まず10ページ、人口ですが、一番下に北海道の欄がございまして、原案段階で9月30日現在の人口の集計が終わっておりませんでしたので、数字を追加しております。次に16ページ、教育分野で、社会教育施設・社会体育施設の設置状況一覧がございます。今年度、国が調査を行っておりまして、現在集計中でございます。3月の公表には間に合いますので、今後、最新の数字に置き換える予定でございます。次に46ページ、フードバレーとかちの推進ですが、「取組概要」に1,100%の食料自給率と記載されていますが、昨年12月に新しく試算し、1,249%という新しい数字が出ておりますので、これに置き換える予定でございます。次に62ページ以降でございます。附属資料として、全て今回追加しております。内容は、今年度開催した共生ビジョン懇談会でのご意見を掲載していることと、パブリックコメントのご意見を掲載しております。今回のご意見を追加して完成となります。その他、69ページに設置要綱、70ページに委員名簿を追加しております。

なお63ページ、2回目の会議でのご意見に対する事務局の考え方を追加しております。2番、共生ビジョンの成果目標については、2回目の会議でのご議論をそのまま掲載しております。3番、人材育成関連で、具体的なデータを示すことが重要とのご意見ですが、今後の取り組みの参考とさせていただきますが、先ほどの説明のとおり、食料自給率については新しい数字に置き換える予定でございます。64ページ、10番の地理的表示保護制度に関するご意見ですが、1回目でいただいた9番のご意見と同趣旨と判断し、整理しております。65ページ、14番で、全国の共進会で素晴らしい成績が残されたということもPRすべきとのご意見でしたが、今後の取り組みの参考とさせていただく旨、記載をしております。15番、16番につきましては、農業振興と担い手の育成ということで、農業に関する様々な視点からの取り組みが必要であるとのご意見でございますが、取組項目を互いに関連付けしながら、農業振興を図っていく旨、記載をしております。

説明は以上でございます。

【座長】

それでは、意見交換に入りたいと思います。

はじめに、資料1、パブリックコメント意見募集の結果の公表について、意見交換をしたいと思います。特にご意見の取り扱いについて、どなたからでも結構ですので、ご発言をお願いいたします。

【委員】

内容的にはよろしいかと思いますが、十勝のことをこれだけ全般的に考えている計画について、パブリックコメントを1か月以上募集して3人6件しか来ていない。各市町村では、広報などで周知したと思いますが、この関心の無さについてどのように考えておられるかお聞きしたいと思います。

【事務局】

各市町村では、広報、ホームページ、あるいは窓口に設置して閲覧等ができるよう対応していただきましたが、それが十分に伝わっていたのかという部分では、私どもも顧みる必要があると思っております。参考までですが、1期目のビジョンを策定した際は4人8件で、その時の状況からあまり変わっていないと感じておりまして、改めて、周知を含めて取り組んでいかなければならないと考えております。

【座長】

3月には新しいビジョンができますので、我々委員としても、こういうことができますということを、まずは身近なところにお伝えいただければと思いますので、お願いしたいと思います。ほかにいかがでございましょうか。よろしいでしょうか。では、事務局のとりまとめの方向をご了承いただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

【座長】

それでは続きまして、資料2に関して、皆様のご意見をお願いしたいと思います。前半部分ではできるだけ新しい数値に替えていこうという説明でございました。62ページ以降に、今日出されたご意見を取り扱うということが中心になろうと思います。皆様のご意見をお願いしたいと思います。

【委員】

46ページ、フードバレーとかちの推進ということで、事務局から食料自給率を1,100%から1,249%に替えるというお話がありましたけれども、水産関係はこの中に含まれず、農業だけの自給率となっております。そういった漁業関係も含めた自給率というのは可能なかどうか、お聞きしたいのですが。

【産業振興・地産地消作業部会】

昨年、十勝の農協取扱高が3,233億円と発表されまして、事前に3千億円を超えるだろうという話もございましたので、市の独自の計算に準じる形で試算しました。水産業も加えて概算の数値を求めることは可能と思いますが、直近のデータがなく、農畜産物のみ明らかにしたものであります。

【委員】

漁業関係を入れると1,249%がもっといい数字になることがないかなという期待感を込めて言いましたので、間に合わなければ1,249%でよろしいかと思えます。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

できるだけ最新の統計を掲載していくということは、皆さんご了解いただけたと思いますので、特に63ページからの、これまでこの委員会に出てきた意見に対する扱いはよろしいかどうかということをご検討いただければと思います。

【委員】

平成28年度の予算が調整中ということでしたが、公表の際も調整中が出るのでしょうか。

【事務局】

ビジョンには平成31年度までの事業費見込みを掲載することになっておりまして、37ページ以降のそれぞれの項目に各年度の事業費を入れる予定でございます。ただ、現在、予算編成作業中で、とりまとまるのが2月下旬、その後、各議会で議決をいただいて確定することになりますから、3月の最終段階にならないと数字が固まらないということがございます。まだ変更がございますので、ご理解をいただければと思います。

【座長】

37ページ以降の具体的な取組という表がございますが、その一番下のところに事業費見込みというのがそれ以降にずっとつながってくるわけですが、その事業費関係、各町村の議会の予算が出た段階でこの中に入ってくるということです。

他にいかがでございましょうか。

【委員】

45ページの十勝ブランドの確立についてのところですが、2020年東京オリンピックが開かれるということでございますが、前回のオリンピックでは海外で認証を受けたものしか食材として供給することができなかったと聞いております。今後については、これから検証していくということですが、せつかくの世界に広げる良い機会でございますので、是非とも十勝のブランドを東京オリンピックでも活用できるように進めていただければと思いますのでよろしく申し上げます。

【産業振興・地産地消作業部会】

十勝の農産物は、特に東南アジアにおいて高い評価をいただいております、大きなビジネスチャンスと捉えてございます。今後も様々なイベントがございますので、こういう機会を捉えまして、今後もチャンスを生かすような形で取組を進めてまいりたいと思います。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

【委員】

1ページ、定住自立圏共生ビジョンの策定にあたり取組概要など書いてありますが、第1期において具体的にどんな効果が現れたとか、何ができるのかという具体的な内容、こんなことができそうかどうかということなどを知りたいのですが。

【事務局】

1ページのところで、どんな事ができるのか、どんな事ができたのかというお話かと思いますが、こちらに、後ろの35ページ、第3章の2つ目の段落に、平成27年度までの第1期においては、「フードバレーとかち」などに取り組み、農業生産の拡大や域外からの事業参入などを図ってきた結果、圏域の活力が向上し、人口も比較的堅調に推移してきたこと、また、こうした取り組みを続ける中で、管内の連携の気運が高まり、全国でも最大面積の消防広域化が実現した、あるいは高度で専門的な医療の支援充実にもつながってきたということを成果として記載しております。

なお、それぞれの項目の成果につきましては、第2章の中で触れてございますので、ご理解をいただければと思います。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

【委員】

39ページ、地域活動支援センターの広域利用の促進ですが、地域活動支援センターはひとつの事業主体であって、広い意味でいくと障害者福祉施設全体にいえることかなと考えたのですが、そういう表現に変えることが可能なのかをお尋ねしたいです。

【医療福祉作業部会】

障害者の福祉施設になりますと、現在、障害者総合支援法に基づく全国一律の国のサービスとか、地域生活推進法といった、地域に根ざした事業で構成されているものでございます。国の方で、介

護給付、施設給付などのサービスにつきましては、施設に空きがある限り、定住自立圏に位置づけるまでもなく、他市町村の施設利用が可能な状態となっているものでございます。

【座長】

委員の皆さんのご専門とされている分野で、再度確認しておきたいことがございましたら、ご意見をお願いいたします。

【委員】

65ページの13番目、外国語表記の部分で意見がありますが、考え方のところには、各自治体、施設管理者の判断で対応するというふうに書いてあります。しかし、全国的にインバウンドが急激に増えている中で、十勝・帯広も外国人観光客を呼び込むために一生懸命頑張っていかなければならない。やはり外国語表記は非常に重要だと思うので、各自治体バラバラというよりは、管内統一した分かりやすい表記にしていくべきではないか。参考意見のような取り扱いになっておりますが、次期に向けて観光客数を増やしていくという観点のもと、統一的な取り扱いをするような努力をしていただきたいと思っております。

また、冬期運転が危険だとか、国内でも若い人たちが免許を持たないとか、十勝に来ても移動手段が充実していないと見たいところを見られなかったということになり、繰り返し来ていただくのが難しいと思うので、二次交通の充実強化に向けて検討して頂きたいと思います。

【産業振興・地産地消作業部会】

観光の看板整備には相応の経費がかかるものがありまして、現実的な部分で言いますと、現在、Wi-Fiの整備を推進しておりまして、情報発信、情報収集に取り組んでいくべきと考えているところでもあります。帯広市の中心市街地でございますが、観光案内版の多言語化と観光マップの多言語化を進めておりまして、そうした取り組みを十勝全体でというふうに考えているところでもあります。

冬期の運転の関係、移動手段・二次交通の確立という点ですが、現在、東北海道全体で広域観光周遊ルートという中で移動の円滑化に取り組んでおりますので、その中で冬期の移動手段についても考えているところでもあります。

【座長】

先日の大雪の際、札幌に行って帰って来られなかったのですが、そうすると、次にどの様な手段で帰ってくるのかなど。我々なら何とかなるんですけど、初めてお見えになった方には分からないということもございます。とかちプラザはWi-Fiが使えるようになったと思っておりますが、まだ非常に少ないなと思っていて、そういうふうなマップなんかがあればと思います。今後、年度改訂等がありますので、そうした時にご意見をいただければと思いますので、また引き続きお願いいたします。

他にいかがでございましょうか。

【委員】

定住自立圏の成果目標ということで、十勝管内の観光入込み客数が1,020万人ということであるんですけど、平成26年度で990万人くらいっているんじゃないかなと思うんですね。ちょっと控えめではないかなという感じがするんですけど、いかがでしょうか。

【事務局】

観光入込み客数は、北海道の総合戦略の中で1,020万という数字を掲げております。私ども北海道と連携しながら観光振興に取り組んでおりますので、同じ数字を目標として掲げて進めて行こうということでございます。まず着実にこの数字を達成していく。ただ、現在様々な形で観光の動きが出てきております。その流れをしっかりと捉えて、この数字を上回るような実績が残せるように取り組んでまいりたいと思っております。

【委員】

66 ページ、ゴミについて記載されています。今後の啓発活動などが載っていますが、小さい頃から意識付けが必要ですし、現状、道路のまん中に放置していったり、これは完全に意識的にやるんでしょが、昔であれば見えないところに捨てることはあったかもしれませんが、こういうようなことをする。そうした際に、なかなか難しいでしょうけど、告発するだとか、捨てた人を特定するような動きをしているということを、社会的に見せ付けることも必要ではないかなと思ひ、話をさせていただきました。

【座長】

もう少しきびしい態度をという話がございましたが。

【環境作業部会】

各市町村でそれぞれ住民レベルの取り組みなどを進めていらっしゃると思ひますし、帯広市におきましてもクリーンキャンパスということで民間の企業さんも一緒になって自主的な活動を続け、子供さんも一緒に入ったりしながら、やっているという状況でございます。

学校におきましても、環境に優しい取り組みを進んでいる状況ですので、子供さんのうちから、そういったゴミを捨てない、周りを気にする、そういう意識が少しずつ育ってきていると思ひます。定住自立圏としては、市町村間で情報交換しながら継続的に取り組んでいきたいと考えております。

ご意見にありました、告発するようなことはなかなか難しいと思ひますので、やはり子供の頃から、親も含めての環境意識の向上に取り組んでいくことが大切だと考えております。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

【委員】

65 ページ、13 番、多言語表記のところなんですけど、トイレの使い方とか、ゴミの捨て場所とか、公共交通機関やホテルや観光地での表記について統一したら良いんじゃないかなと思ひたんですが、どこも共通にできることだと思うんです。デザインを統一して、十勝としての観光の取り組みを外国人の方に感じていただけるのではないかなと思ひます。比較的できる取り組みなんじゃないかなと思ひました。

【産業振興・地産地消作業部会】

十勝ですと、台湾などからの観光客が多く、利用者が多い所はもう既に整備されているということでございますが、日常のマナーについては、整備が必要なのかなと思ひてございます。現在、帯広観光コンベンション協会が中心になりまして、タクシー、飲食店、ホテルで外国の方とコミュニケーションをとるための多言語表記ということで、英語・中国語・ハングル語・タイ語ですが、指で選んで示すことができる多言語のシートを作成しております。これらも活用しながら対応していければと思ひているところです。

【座長】

他にいかがでございましょうか。

よろしいようでしたら以上で第2期共生ビジョンに関わる意見交換を終らせていただこうと思ひます。

事務局におかれましては本日のご意見等を附属資料に付け加えていただいた上で今後の取組に十分生かしていただきたいと思ひます。参考としたものについて関係する作業部会で協議を進めるようをお願いいたします。

【座長】

それではお諮りしたいと思います。事務局の提案どおり最終案を了承するというところでよろしいでしょうか。予算のことにように持ち越している部分もあると思いますが、最終案ということではよろしいでしょうか。

(異議なし)

【座長】

異議なしと認めまして、最終案とさせていただきます。

次に、「議題3 その他」に移らせていただきます。事務局から連絡事項等お願いいたします。

【事務局】

今後のスケジュールにつきましてご説明いたします。今年度につきましては、本日が最後の会議でございます。3月末にビジョンを策定・公表いたしますので、その時期に、皆さまのお手元に最終版が届くようにしたいと思います。

なお、委員の任期は、昨年7月から2年間ということで、まだ1年半ほどございます。来年度は、新たなビジョンの進捗状況を説明し、ご意見を頂戴してまいりたいと思います。これまで同様、毎年度ビジョンを見直し、改訂をしていくこととなります。

日程は調整中でございますが、概ね9月頃に第1回目の会議を開催し、第1期のビジョンの振り返りと、第2期のビジョンなどの取組状況をお知らせしたいと思います。時期が近づいてまいりましたらご案内を差し上げたいと思います。

【座長】

只今の事務局の説明に対して何かご質問ございますか。改訂版にはみなさんもう一度目を通していただければと思います。

【委員】

防災についてですが、先日ある方と話していた際、釧路が被災した時に、十勝から応援に来てほしいという意見がありました。防災というのはなかなか難しく、減災をすることが大事なんだろうけど、相互の応援体制をとることをもっと話を進めて考えていかないと。応援に行かれる方も被災していることが考えられますので、防災についてはもうちょっと深く踏み込んで考える体制を取っておかなければならないと思います。

【座長】

ご意見としてお伺いしておきたいと思います。

他にいかがでございましょうか。

(質問・意見なし)

4 閉会

【座長】

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

円滑な会議運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。

これをもちまして、第3回目懇談会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。